



JADEC

公益社団法人
日本糖尿病協会
のご案内



つながりの輪が未来を変える

公式マスコットキャラクター 「マールくん」



unite for diabetes

JADECは、糖尿病の克服に邁進しています。

JADECへようこそ

JADEC（日本糖尿病協会）は、糖尿病がある人、医師・歯科医師、メディカルスタッフ、市民・企業・行政などで組織されている公益社団法人です。広く国民の健康増進に寄与することを理念に、糖尿病に関する正しい知識の普及啓発活動と合併症などの予防対策に力を注いでいます。

日本の糖尿病患者数は増加の一途をたどっており、糖尿病がある人とその予備群は、およそ2000万人にまで達しています。また、世界的に見ても激増しており、2006年には国連が毎年11月14日を「世界糖尿病デー」と公式に認定し、世界が一致団結して糖尿病の予防と克服に向けて闘うことを呼びかけました。糖尿病で苦しむ人を支援し、糖尿病の増加を食い止める。糖尿病治療先進国の団体として、世界に貢献す

る。当協会が果たすべき役割と使命は、ますます大きくなっています。

JADECの活動は、大きく4つに分かれています。一つ目は「糖尿病に関するアドボカシー活動」。糖尿病に対する社会的偏見を払拭するため、市民向け講座やメディアセミナーによる周知・啓発活動をおこない、糖尿病のことばを見直すプロジェクトも進めています。また、糖尿病がある人が適切な医療を受けられる環境づくりのため、行政や製薬・医療機器企業への働きかけなども継続して行っています。

二つ目は「糖尿病についての正しい知識の普及啓発」。糖尿病の発症や重症化防ぐために、さまざまな形で広く一般に啓発活動をしています。さらに、医療スタッフに向けた情報発信や

資格制度などの整備により糖尿病治療の質の確保をはかり、糖尿病がある人がどこでも安心して治療を受けられる体制作りを目指しています。そして、治療に役立つオリジナルグッズの制作・発行や、仲間同士とともに糖尿病と向き合うための活動を行う友の会や、糖尿病がある子供たちを対象としたサマーキャンプの支援を行っています。

三つ目は「国民の糖尿病予防と健康増進のための調査研究」。糖尿病がある人や医療スタッフへのアンケート調査や、糖尿病治療薬の使用実態研究などを全国規模で実施し、よりよい医療を提供するための基盤づくりを行っています。

四つ目は「国際糖尿病連合の一員としての国際交流」。日本だけにとどまらず、各国の団体

と協調し世界規模での糖尿病対策に取り組んでいます。

糖尿病がある人が糖尿病がない人と変わらない生活ができるように何ができるのか。常に一歩先を見据えて、皆さんと一緒に糖尿病の克服という課題に立ち向かっていきたいと考えています。ぜひJADECに入会して、私たちの活動に力をお貸しください。



JADEC（公益社団法人
日本糖尿病協会）
理事長 **清野 裕**
（せい の ゆたか）
関西電力病院総長
京都大学名誉教授
アジア糖尿病学会（AASD）理事長

普及活動から国際交流まで幅広い活動を展開

1 アドボカシー活動

糖尿病のスティグマ払しょくに取り組みます。

- 糖尿病のことばを見直すプロジェクト
- 市民向け啓発講座
- メディアセミナー

など

2 糖尿病の正しい知識の普及啓発

糖尿病の治療や予防について正しい知識を広めます。

- 糖尿病専門雑誌の発行
- 治療に役立つグッズの制作
- 糖尿病の子どものキャンプの実施
- 年次学術集会の開催

など

3 調査研究

よりよい医療を提供するための基礎づくりを行います。

- 研究助成
- 糖尿病のある人や医療関係者へのアンケート調査
- 糖尿病治療薬の市販後調査

など

4 国際交流

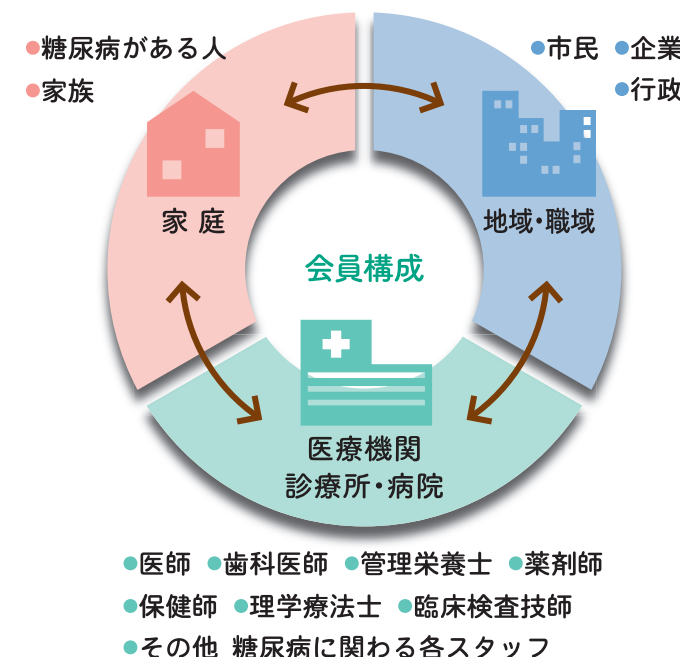
日本だけにとどまらず、世界規模で糖尿病対策に取り組みます。

- 世界各国の学・協会との協調
- 国際糖尿病連合の一員としての活動
- アジア地域の若手研究者育成

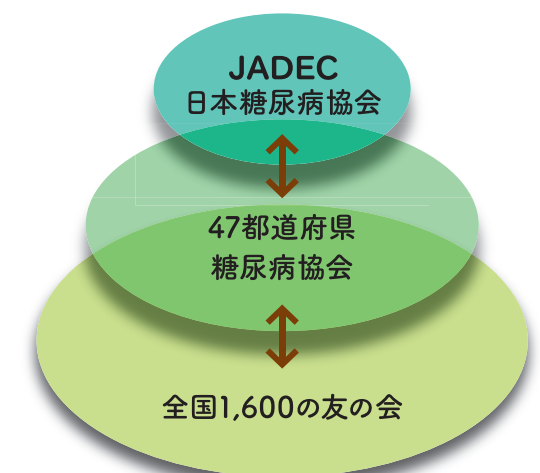
など



三位一体の会員構成と全国に広がるネットワーク



組織



入会すれば「育む」「役立つ」「つながる」…3つの特典

1 育む

情報誌「さかえ」を毎月お届け

無料

「さかえ」は糖尿病の最新情報や食事療法を活用したクッキングレシピ、体験談、医療スタッフの声など糖尿病のことが何でもわかる月刊誌です。



毎月15日発行
A4変形判 68ページ



3 つながる

知識を深め実践するイベントを開催

講演会・体験学習・啓発活動等のイベントを開催しています。参加することで会員間の交流も深まります。

- ウォークラリー
TDJ (マラソンチーム)
- 小児糖尿病キャンプ
※全国の糖尿病のある小中高校生が対象
- 医療者向け講習会
JADEC 年次学術集会
- World Diabetes Day (11月14日)
ダイアベティス ウィーク (11月)



2 役立つ

役立つ「JADECオリジナルグッズ」をご用意

検査の記録を残す手帳や、旅先での事故等緊急時に役立つIDカードなど、JADECが開発したオリジナルグッズを差し上げています。



IDカード
低血糖昏睡や交通事故などの緊急時に、本人が糖尿病であることや連絡先が分かります。

英文カード
(Diabetic Data Book)
海外での事故、病気の際に現地で適切な治療を受けるため、海外渡航時に携帯します。ダウンロードして利用できます。

糖尿病がある人としての
あなたの知識・経験を人に伝える、
それも大きな社会貢献です。

JADEC (日本糖尿病協会) は国民の健康増進を目的とした公益法人です。医療スタッフだけでなく、糖尿病がある人も、会員として啓発活動等の事業運営に参加出来ます。人と人のつながりが未来を変える。あなたも一緒に日本の糖尿病対策を考えてみませんか？

ホームページ、
facebookでも
情報を公開中

- ◎ 予防・治療に役立つ情報
- ◎ 「登録医・糖尿病認定医」「登録歯科医」「医療施設」の検索
- ◎ イベント開催の情報



JADEC

検索

www.nittokyo.or.jp
www.facebook.com/nittokyo

医療に従事される方もぜひご入会ください。

ダイアベティスケアの質の向上を目指して

JADEC ホームページ
医療スタッフの方へ



医療スタッフ向け専門誌「DM Ensemble」

「DM Ensemble」(ディーエム アンサンブル)は、糖尿病のチーム医療に携わるすべての方々を対象としたオンライン雑誌です。

毎号、糖尿病診療の最新情報や職種ごとの重要トピックや症例クイズなどのコンテンツをお届けします。



年6回発行
定価 990 円 (税込)
会員価格年間購読料
1,800 円 (税込)

JADEC 年次学術集会

従来の職種ごとの専門的な学術集会とは異なり、糖尿病チーム医療に携わる様々な職種が一堂に会し、ディスカッションを行うワークショップ形式が中心です。一般的な発表会ではなく、多職種が交流できるスモールグループを多用し、相互理解を促進します。



教育資材の開発・提供

カンバセーション・マップ™ やカードシステム など、ユニークな教育資材を提供しています。

地域の CDE 活動の支援

全国各地で進められている CDEL (地域 CDE) の活動を支援し、どこでも質の高い糖尿病医療が受けられることを目指しています。

登録医・糖尿病認定医制度 登録歯科医制度

糖尿病診療の質の担保と標準化による受診者の QOL の向上や、歯科医科連携による合併症予防を目指した登録医制度を設けています。



入会方法は2種類

どなたでも入会できます。

- どちらの方法で入会しても JADEC の会員です!
- 情報誌「さかえ」が毎月無料で購読できます。

「友の会」への入会

「友の会」とは?

各地の医療機関ごとに、糖尿病がある人とその家族、医師、看護師、栄養士などの医療スタッフで作られています。

友の会

勉強会などで
知識を深めることが
できます。

親睦会などで
仲間との交流が
できます。

都道府県
糖尿病協会が開催する
地域のイベントに参加
できます。

◎糖尿病についてもっと詳しく知りたい方 ◎ともに糖尿病と向き合う仲間が欲しい方

➡ まずは通院されている医療機関に
お問い合わせください。※

➡ 「友の会」は5人以上の会員を
集めれば設立することができます。

- JADEC、または、お近くの都道府県糖尿病協会にご相談ください。
 - 「友の会」ごとに活動内容が異なるため会費は一律ではありません。
- ※通院されている医療機関に友の会がない場合でも、都道府県協会が設ける友の会に入会できる場合があります。

本部会員として入会

- 情報誌「さかえ」をご自宅にお届けします。
- 活動に参加するお時間のない方でもOK!
- JADECが開催するイベントに参加できます。

本部会員

◎まずは「さかえ」を読んでみたい方
◎おかかりの医療機関に「友の会」がない方

➡ JADEC 事務局で
受け付けています。

詳しくはこちらで!!



ご入会のお申し込み、お問い合わせは、電話・ファックス・ウェブ・Eメール でお気軽に

☎ 03-3514-1721

FAX 03-3514-1725

💻 www.nittokyo.or.jp

✉ office@nittokyo.or.jp

北海道

■北海道

医療法人 萬田記念病院
TEL.011-231-4032

東北

■青森県

弘前大学大学院医学研究科
内分泌代謝内科学講座
TEL.0172-39-5062

■秋田県

秋田大学大学院医学系研究科
代謝・内分泌内科学
TEL.018-884-6769

■岩手県

岩手医科大学医学部
内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野
TEL.019-907-6856

■山形県

済生会山形済生病院
TEL.023-682-1111

■宮城県

東北大学医学部 糖尿病代謝・内分泌科
TEL.022-717-7611

■福島県

太田西ノ内病院 庶務課
TEL.024-925-1188

関東甲信越

■茨城県

医療法人 健清会 那珂記念クリニック
TEL.029-353-2800

■群馬県

群馬大学医学部附属病院 内分泌糖尿病内科
TEL.027-220-8121

■栃木県

獨協医科大学病院 内分泌代謝内科
TEL.0282-87-2150

■東京都

東京都糖尿病協会事務局
TEL.03-6892-2962

■千葉県

井上記念病院 栄養課
TEL.0436-62-4511

■埼玉県

自治医科大学附属さいたま医療センター
TEL.080-2382-4630

■神奈川県

川崎市立川崎病院 糖尿病内科
TEL.080-8815-1234

■山梨県

山梨大学医学部 糖尿病・内分泌内科
TEL.055-273-3310

■長野県

佐久市立国保浅間総合病院 糖尿病内科
TEL.0267-67-2295

■新潟県

新潟大学医歯学総合病院
血液・内分泌・代謝内科
TEL.025-368-9026

中部

■静岡県

静岡県立総合病院 栄養管理室
TEL.054-247-6134

■愛知県

愛知医科大学医学部 内科学講座糖尿病内科
TEL.0561-63-1682

■三重県

JCHO四日市羽津医療センター
TEL.059-331-2000

■岐阜県

岐阜大学医学部附属病院 糖尿病代謝内科
TEL.058-230-6378

■富山県

富山赤十字病院 医療社会事業課
TEL.076-433-8843

■石川県

早戸 武志 様方
TEL.0761-21-0965

■福井県

医療法人 初生会 福井中央クリニック 内科
TEL.0776-24-2410

近畿

■滋賀県

大津赤十字病院 栄養課
TEL.077-522-4131

■京都府

京都大学大学院医学研究科
糖尿病・内分泌・栄養内科学
TEL.075-751-3560

■大阪府

大阪大学大学院医学系研究科
内分泌代謝内科学講座
TEL.06-6879-3743

■和歌山県

和歌山県立医科大学附属病院 第1内科医局
TEL.073-445-9436

■奈良県

奈良県立医科大学 糖尿病・内分泌内科学講座
TEL.0744-22-3051

■兵庫県

神戸大学大学院医学研究科内科学講座
糖尿病・内分泌内科学部門
TEL.078-382-5868

中国・四国

■岡山県

岡山大学医学部
腎・免疫・内分泌代謝内科学教室
TEL.086-235-7235

■広島県

広島大学病院 内分泌・糖尿病内科
TEL.082-257-1784

■鳥取県

住吉内科眼科クリニック
TEL.0859-24-1151

■島根県

松江赤十字病院 栄養課
TEL.0852-32-6946

中国・四国

■山口県

山口大学医学部 第三内科
TEL.0836-22-2251

■香川県

香川大学医学部附属病院
内分泌代謝内科・糖尿病センター
TEL.087-891-5626

■徳島県

徳島大学先端酵素学研究所
糖尿病臨床・研究開発センター
TEL.088-633-7587

■高知県

高知大学医学部
内分泌代謝・腎臓内科学（第二内科）
TEL.088-880-2343

■愛媛県

愛媛大学大学院医学系研究科 糖尿病内科
TEL.080-5667-2786

九州

■福岡県

九州大学医学部
病態機能内科学（第2内科）
TEL.092-631-0656

■大分県

大分大学医学部 看護学科
TEL.097-586-5089

■佐賀県

佐賀大学医学部 看護学科
TEL.0952-34-2551

■長崎県

みどりクリニック
FAX.095-844-7193

■熊本県

熊本県糖尿病協会事務局
TEL.096-365-5414

■宮崎県

平和台病院1階
TEL.0985-22-8015

■鹿児島県

鹿児島大学病院 糖尿病・内分泌内科
TEL.099-275-6436

■沖縄県

沖縄県糖尿病協会事務局
TEL.098-975-9184

入会お申込み、お問い合わせは JADEC 事務局へ